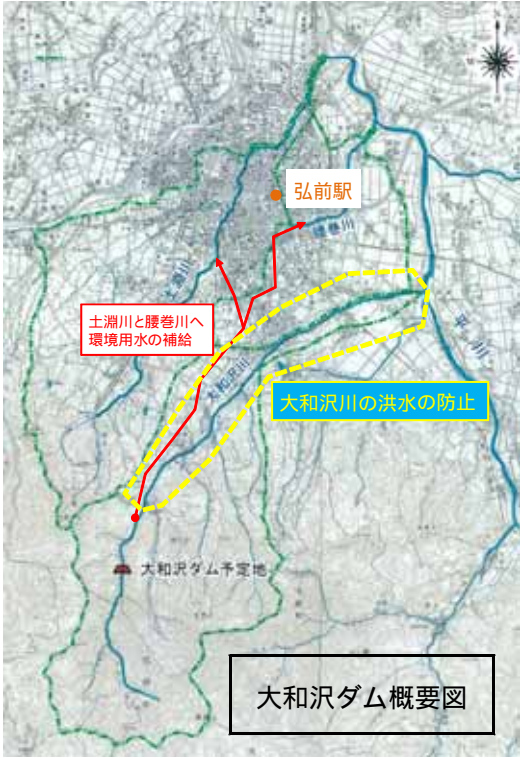


大和沢ダム建設事業について

大和沢ダムの目的
【治水】
・大和沢川の洪水の防止
【利水】
・土淵川・腰巻川への環境用水の補給



弘前市の下水道整備により土淵川や腰巻川の水質が大幅に改善された

大和沢ダムから土淵川や腰巻川への環境用水の補給が必要なくなる

大和沢ダム中止について審議中

大和沢ダムを中止しても治水（大和沢川の洪水の防止）は必要である

大和沢川の洪水の防止対策は段階的に整備を進める

昭和50年、昭和52年の洪水が起こってもあふれることはなくなります。

堤防や河川を拡げる河川改修を実施

【将来】
大和沢川流域の開発の進展など必要性が高まれば、大和沢川も洪水を防止する施設を設置し、安全度のレベルをさらに高める

詳細は裏面を参照してください。

大和沢川沿川住民の皆様へ 大和沢ダム建設事業についてのお知らせです。

大和沢ダムは、土淵川、腰巻川の水をきれいにする環境用水の補給（利水）と、大和沢川の洪水の防止（治水）を目的とし、弘前市一野渡地内に計画されたダムです。

（利水計画：ダムにためた水を利用する計画）

弘前市の中心市街地を流れる土淵川は、昭和50～60年代にかけ、水質の悪化により、魚の酸欠死やユスリカの大量発生等の問題が起こっていました。

このため、ダムからの水を土淵川に補給することで、河川の汚い水をきれいな水に改善することを目的とする大和沢ダムが計画されました。

しかしその後、弘前市の下水道整備が進んだことにより、河川水の**水質は大幅に改善され、近年はサケやアユの遡上も見られるよう**になりました。

そこで県では、水質改善のための水をダムから川に補給する必要性は薄れたものと判断し、ダム建設の中止について、学識経験者や一般の公募により選ばれた方々で構成されている再評価委員会で、ご審議していただいているところです。

（治水計画：洪水防止計画）

ダム建設は中止の方針ですが、大和沢川の洪水の防止については、**堤防や、河川を拡げる河川改修**を行うことで、大和沢川の洪水に対する安全度を段階的に高めていく計画としております。

大和沢川の安全度は、過去に大きな被害をもたらした**昭和50年8月や、昭和52年8月の洪水が起こってもあふれないレベル**とし、本川平川や腰巻川と同様となります。

将来、大和沢川流域の開発の進展など必要性が高まれば、大和沢川においても洪水を防止する施設を設置するなどして、安全度のレベルをさらに高めていきます。

（ご意見）

以上につきまして、ご質問やご意見等ございましたら、下記までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先：青森県県土整備部河川砂防課

河川開発グループ 上野、横山、伊東

電話017-734-9664 F A X 017-734-8191

メールアドレス <kasensabo@pref.aomori.lg.jp>

「大和沢川沿川住民の皆様へ」に対するご意見
 平成22年7月26日～ 4,006世帯に配布
 以下4名の方々から意見がありました。

受信年月日	平成22年7月26日(電話)
性別	男性
ご意見	<p>Q1:大和沢ダムについての文書が配布されたが、どうすればいいのですか。 A1:今年5月下旬、2回に渡って地元説明会をしましたが出席しなかった人も大勢いるので、沿川住民の方々に周知したく配布したものです。 Q2:内容は、大和沢ダムが中止になるとのことですか。 A2:はい。 Q3:ダムが中止となっても安全ですか。 A3:ダムは中止しますが、堤防や河川を拓げる河川改修を行い、これにより昭和50年8月や昭和52年8月の様な洪水が起こっても溢れない計画とします。 Q4:わかりました。</p>

受信年月日	平成22年8月2日(電話)
性別	男性
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、大和沢川近くに住む住人です。 ・今日、県で配布したチラシを見ましたが、大変いい事が書いている。 ・ただ、一つだけ間違ったことを書いている。チラシには「サケやアユの遡上も見られる」と書いているが、実際はカジカやウグイしか上っていない。

受信年月日	平成22年8月4日(電話)
性別	男性
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大和沢ダム建設中止には賛成です。 ・護岸などの河川工事で、カモ、鳥、魚がいなくなり自然が失われてしまった。埼玉県志木市の桜堤でも参考にすればどうですか。

受信年月日	平成22年8月6日(電話)
性別	男性
ご意見	<p>(大和沢ダムの場所と目的を説明したところ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダム中止は、いいと思います。